



白馬村・小谷村では「ふきのとう」を方言で『ちゃんめろ』と言います。

都留文科大学の調査に協力しました



9月20日(木)に都留文科大学(山梨県都留市)から、地域調査学習の一環として4名の学生さんが来所されました。

調査研究のテーマは「自然災害多発地域における暮らしと工夫」ということで、小谷村は歴史的にみて非常に災害が多く、このような地域で人々がどのように暮らしているのに興味を持ったとのことでした。

砂防事業については、地域との情報共有や意志決定のプロセス、直面している課題等について質疑があり、中山所長以下職員3名で説明を行い調査に協力しました。

学生の皆さんは、夏休みを利用しての学習ということでしたが、今回の調査結果が研究の役に立ち、地域の安全・安心や振興に反映されることが期待されます。



北股入沢砂防連絡協議会に出席

北股入沢ネブカ平(赤岩)の状況を確認するために、北股入沢砂防連絡協議会に出席しました。今回は、自然保護と周辺環境に配慮し実施した赤岩周辺の緊急対策工事について、施工後の施設状況報告及び現地調査を行う等、昨年引き続き開催されました。

姫川砂防事務所の他に、国土交通省、環境省、林野庁、長野県(自然保護課・砂防課)、白馬村(事務局)が参加しました。



姫川砂防事務所では、赤岩周辺の崩壊防止対策を実施し国土保全を図ると共に、貴重な観光資源(お花畑)を浸食の拡大から守っています。

防災情報共有連絡会議

JR大系線の南小谷駅から北は、特に地形や気象が厳しく、安全な運行に苦慮している区間です。また、国道と共に地域の重要な交通路であるため、JR西日本と小谷村、姫川砂防事務所を含めた長野県の関係機関が合同で、9月3日(月)に防災情報を共有する会議を行いました。

今年は、5月に小谷村の横川で発生した大規模な山腹崩壊で、休日や夜も合同で対応することがあり、より協力する場面が増えました。

列車の安全な運行のために、JR西日本と関係機関が連携して、更なる安全性向上に努めていきたいと思っております。



現場紹介

工事名 : 地すべり対策工事

工事箇所 : (地) 前沢地区 小谷村 前沢

当地すべり事業箇所では、現在、対策工として集水井工の設置を行っています。

施工規模は 3500 深さ44.1m(地上からの深さは43.1m)

集水井工は井戸を掘り、さらにその井戸から横にボーリング孔を掘って地下水を集め、地下の水位を下げることで地すべりを防止します。

深さ44.1mは集水井工として、かなり深いと言ってよいと思います。

写真のとおり、上から覗いた時には底が見えないほどです。

地下43mに降りるのは、土木に携わっている人でもなかなか無い貴重な経験です。

下に降りるにはタラップが螺旋状に設置されていますが、手摺が低いこともあり、少し不安があります。しかも延長が長いので運動不足の人にとっては、往復するだけで筋肉痛になります。

というか筋肉痛になりました(木洞課長が)



とびくす

熊の来襲、2012!!

昨年は小谷村の地すべり地区(市場2号)に設置してある伸縮計が熊に壊されたことを報告しましたが、今年は同じ小谷村の横川地すべりで伸縮計が、熊に壊されました。

木杭が噛まれ、毛が付着していました。

熊は楽しんだのでしょうか...



10月・11月の主な行事

白馬村

10月27日(土)

* 晩秋の白馬八方のんびりウォーキング

10月28日(日)

* 白馬 de ハロウィン2012

11月9日(金)

* 姫川水系砂防土砂災害の教訓・承継シンポジウム

小谷村

10月27日(土)~10月28日(日)

* 小谷村文化祭

10月下旬~11月下旬

* おたり新そば祭り

